

皆様のかかりつけ医として
大切な情報をお届けします

新聞PDFはこちらへ▶



いわい中央クリニック新聞

2025年
6月号



受診の際は毎回マイナンバーカード受付をお願いします

同意していただくことで健康診断の情報や他院で処方された薬の情報を参照することができます

6月から熱中症に要注意！

6月はまだ梅雨の時期ですが、湿度が高く、体の中に熱がこもりやすいため、熱中症のリスクが高まります。まだ暑さに慣れていないこの時期は、体にとって大きな負担になることも。梅雨明けの急な暑さにも注意が必要です。本格的な夏を元気に迎えるために、6月からの対策が大切です。水分をこまめにとり、エアコンや扇風機を上手にを使って、無理のない毎日をお過ごしください。



重症度	症状	対処法	
Ⅰ度 中等症	めまい、立ちくらみ だるさ、筋肉がつる 汗が止まらない	水分と塩分の補給（スポーツドリンクが最適） 涼しい場所での休憩、衣服は緩める 体を冷やす（首の後ろ、脇の下、足の付け根）	家で治せる レベル
Ⅱ度 重症	体に力が入らない 吐き気、嘔吐、頭痛 集中力や判断力の低下	涼しい場所で足を高くして休む 体を冷やす（首の後ろ、脇の下、足の付け根） 点滴治療が必要	クリニック レベル 点滴が必要
Ⅲ度 死に近い	けいれん、意識がない 反応がおかしい 手足の運動障害	ためらうことなく救急車（119番）を呼ぶ 体を冷やす（首の後ろ、脇の下、足の付け根） 意識がない時は水分を与えない	救急車で すぐ 大病院へ

最近、物忘れが気になる方へ

人の名前が出てこない、同じ話を何度もしてしまう、予定を忘れてしまう…。年齢のせいかな？と思いがちですが、これらは「MCI（軽度認知障害）」のサインかもしれません。MCIは、認知症の前段階ともいわれており、早期に発見し、生活習慣の見直しや治療を始めることで、進行を遅らせることが可能です。血液検査だけでMCIのリスクを調べられる検査があります。将来の安心のために、自分の脳の健康状態をチェックしてみませんか？

お気軽にご相談ください。
自費診療となります：税込27,500円



わきあせ・手汗でお悩みの方

「わき汗が気になって洋服を選べない」「手汗でスマホや書類が濡れてしまう」—そんなお悩みはありませんか？実は、これらの症状は多汗症と呼ばれる病気で、保険適用の治療が可能です。当院では、わきの汗に対しては「エクロックゲル」や「ラピフォートワイプ」、手のひらの汗に対しては「アポハイドローション」という外用薬を処方しています。

毎日塗るだけで発汗を抑える効果が期待できる薬です。
お気軽にご相談ください。



看護師長からのあいさつ

特定健診 申し込みはお早めに！

6月1日から、国保加入者と後期高齢者を対象とした特定健診がはじまります。同時に個別検診（結核・大腸がん・前立腺がん・胃内視鏡・胃がんリスク・肝炎ウイルス・骨粗鬆症）当院で行っています。市外在住の方は基本健診のみ可能です。

健診は生活習慣病やがんの早期発見・早期治療に役立ちます。病気による苦痛や医療費の増加を抑え健康寿命を延ばすことができます。ぜひ健診を受けて自分の健康管理に役立てましょう。

院長からのあいさつ

妙義山の緑も深まり、安中市にも初夏の風が心地よく吹く季節となりました。今年は全国的に猛暑が予想されており、群馬でも6月から熱中症のリスクが高まっています。特に高齢の方や持病のある方は、早めの水分補給や室内の温度管理を心がけましょう。屋外での活動は、涼しい時間帯に無理のない範囲で行いましょう。当院では、熱中症の予防や健康相談にも対応しております。

地域の皆様が元気に夏を迎えられるよう、スタッフ一同、心をこめてサポートしてまいります。お体の不調を感じた際は、どうぞお気軽にご相談ください。